



平成30年7月31日

各位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 代表取締役社長 白井 英徳
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 執行役員管理部門統括 橋本 真喜
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,500	625	575	400	56.48
今回修正予想(B)	10,900	865	815	580	81.90
増減額(B-A)	400	240	240	180	
増減率(%)	3.8	38.4	41.7	45.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成30年3月期第2四半期)	9,011	409	379	213	30.18

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	1,250	1,150	800	112.97
今回修正予想(B)	21,400	1,490	1,390	980	138.38
増減額(B-A)	400	240	240	180	
増減率(%)	1.9	19.2	20.9	22.5	
(ご参考)前期実績(平成30年3月期)	20,336	1,124	1,029	909	128.44

平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	160	165	130	18.36
今回修正予想(B)	5,100	230	275	210	29.65
増減額(B-A)	200	70	110	80	
増減率(%)	4.1	43.8	66.7	61.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成30年3月期第2四半期)	4,485	31	39	24	3.45

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,800	320	370	300	42.36
今回修正予想(B)	10,000	390	480	380	53.66
増減額(B-A)	200	70	110	80	
増減率(%)	2.0	21.9	29.7	26.7	
(ご参考)前期実績(平成30年3月期)	9,801	253	321	492	69.50

修正の理由

【連結業績】

連結の第2四半期累計実績につきましては、日本、東アジア、東南アジアの各セグメントにおいて、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調であったこと等により、売上高は前回予想を400百万円上回る10,900百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加と売上総利益率の改善等により、営業利益は前回予想を240百万円上回る865百万円、経常利益は前回予想を240百万円上回る815百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を180百万円上回る580百万円となる見込みです。

通期につきましては、日本、東アジア、東南アジアの各セグメントの需要は総じて堅調ではあるものの、米国の自国第一主義に伴う貿易摩擦、中国等の新興国経済の減速、急激な為替変動リスク等、不透明な部分もあり、売上高は前回予想を400百万円上回る21,400百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加と売上総利益率の改善等により、営業利益は前回予想を240百万円上回る1,490百万円、経常利益は前回予想を240百万円上回る1,390百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を180百万円上回る980百万円となる見込みです。

【個別業績】

個別の第2四半期累計実績につきましては、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調であったこと等により、売上高は前回予想を200百万円上回る5,100百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を70百万円上回る230百万円、経常利益は前回予想を110百万円上回る275百万円、四半期純利益は前回予想を80百万円上回る210百万円となる見込みです。

通期につきましては、足元の受注は総じて堅調ではあるものの、米国の自国第一主義に伴う貿易摩擦、中国等の新興国経済の減速、急激な為替変動リスク等、不透明な部分もあり、売上高は前回予想を200百万円上回る10,000百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前回予想を70百万円上回る390百万円、経常利益は前回予想を110百万円上回る480百万円、当期純利益は前回予想を80百万円上回る380百万円となる見込みです。

以上